



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東
 コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 保住 博史 TEL 03-5765-7744
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,095	△17.6	60	△58.8	74	△58.1	80	△35.6
25年3月期第2四半期	2,542	2.1	145	418.0	178	324.9	125	883.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 90百万円 (△33.0%) 25年3月期第2四半期 134百万円 (721.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.95	—
25年3月期第2四半期	9.16	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	3,130	2,668	79.8	214.69
25年3月期	3,145	2,578	76.8	207.62

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,497百万円 25年3月期 2,415百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	△10.1	250	7.0	275	5.4	230	21.5	19.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮して額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	14,028,700株	25年3月期	14,028,700株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,395,400株	25年3月期	2,395,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	11,633,300株	25年3月期2Q	13,698,500株

（注）当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割し、単元株式数を100株といたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第２四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第２四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国の債務危機に関するリスクが表面化するなど不安定要因もありましたが、総体としてはいわゆるアベノミクスの成果に対する期待が牽引し、全般に景気回復に向けた兆しが見られる状況にあります。2020年のオリンピックが東京開催となったことに伴う各種インフラ整備への期待も生まれています。

インターネット業界においては、スマートフォンやタブレット型端末の普及が進む中、こうした端末の利用者向けを意図した販売促進、コンテンツ配信が活発化しつつあります。また、7月の参議院選挙から解禁されたインターネット選挙運動に関わると思われる市場への注目度が増しました。

こうした環境下、当社グループでは、ライブ配信関連、スマートフォン向け配信関連等の堅調な需要があるサービスの販売促進を行いつつ、「J-Stream Equipmedia (イクイップメディア)」等、オンデマンド動画配信向けの各種付帯サービスの機能拡充を進めました。

当第2四半期連結累計期間においては、医薬系の業界を中心とした情報提供のためのライブ配信、コンテンツ制作等の案件が堅調に推移しました。しかしながら、代理販売を実施していた他社のオンラインビデオプラットフォームの新規販売を停止し、「J-Stream Equipmedia」などのサービス展開を図る端境期にあたることから、これらが中心となるアプリケーション系の売上が減少しました。

また、当社グループは、平成25年4月1日付けをもって、連結子会社であった株式会社エンターメディアの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,095百万円（前年同期比17.6%減）、連結営業利益60百万円（前年同期比58.8%減）、連結経常利益74百万円（前年同期比58.1%減）、連結四半期純利益は80百万円（前年同期比35.6%減）となりました。

セグメントの売上は次のとおりであります。

(配信事業)

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC、携帯電話、タブレット型端末、スマートフォン等の各種端末を対象とするライブ配信及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービスや、配信に伴って利用される付随する各種アプリケーションの提供等が含まれます。

配信事業においては、企業の情報提供に関連するライブ配信需要の取り込みや、「J-Stream Equipmedia」を中心とした各種オンデマンド配信案件への対応を中心に受注拡大を図りました。当第2四半期連結累計期間においては、企業の新サービス説明会や講演会等のライブに関連する需要が旺盛であり、ライブ配信サービスが順調に推移しました。一方、他社のオンラインビデオプラットフォームの新規販売停止によるアプリケーション関連の売上と、従来よりフィーチャーフォン向けに提供していたサービスの売上が減少しました。代替として「J-Stream Equipmedia」や、スマートフォン向けのサービス等の商品力向上・販売の強化を図ったものの、現時点では減少分をカバーする売上水準に至らず、これらの結果、当事業の売上高は1,098百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

(制作・システム開発事業)

制作・システム開発事業は、ウェブサイトやシステム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスや情報提供サイトのシステム開発等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、医薬系業界の企業の情報提供に関連する制作受注が伸長したほか、セミナー・講義等の配信案件、システム開発系の案件が堅調に推移いたしました。当事業の売上高は990百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

その他の売上には案件の進行に伴い随時発生する、上記2事業にあてはまらない売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は6百万円（前年同期比58.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,361百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は768百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が増加したことによるものであります。

す。

この結果、総資産は、3,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は356百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少いたしました。これは主に未払金の減少などによるものであります。固定負債は104百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主にリース債務の増加などによるものであります。

この結果、負債合計は、461百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益80百万円の計上によるものであります。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ198百万円減少し、1,561百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ147百万円減少し、193百万円の資金の増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が減少した他、売上債権の回収の減少、外注費等の支出の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動は、49百万円の資金減少となり、前第2四半期連結累計期間と比べ支出が44百万円減少いたしました。これは主に、子会社株式売却により収入が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動は、26百万円の資金減少となり、前第2四半期連結累計期間と比べ支出が3百万円増加いたしました。これは主に、リース債務の支払の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月30日に公表致しました連結業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,962	731,820
受取手形及び売掛金	817,123	648,696
商品	5,128	—
仕掛品	17,815	42,039
預け金	630,000	830,000
その他	104,742	109,274
貸倒引当金	△396	△420
流動資産合計	2,388,375	2,361,410
固定資産		
有形固定資産	252,838	262,621
無形固定資産		
のれん	13,070	6,535
ソフトウェア	303,596	337,492
その他	15,676	14,354
無形固定資産合計	332,343	358,383
投資その他の資産		
投資有価証券	36,458	33,780
その他	140,515	119,345
貸倒引当金	△4,595	△5,249
投資その他の資産合計	172,378	147,876
固定資産合計	757,560	768,881
資産合計	3,145,936	3,130,291
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,898	—
未払金	260,924	171,088
未払法人税等	14,998	10,535
賞与引当金	14,181	17,992
その他	167,486	157,104
流動負債合計	470,490	356,721
固定負債		
引当金	16,496	17,186
資産除去債務	17,860	16,537
負ののれん	13,198	—
その他	49,362	71,121
固定負債合計	96,918	104,845
負債合計	567,408	461,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	626,241	626,241
利益剰余金	65,140	145,953
自己株式	△459,182	△459,182
株主資本合計	2,414,578	2,495,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	2,177
その他の包括利益累計額合計	725	2,177
少数株主持分	163,222	171,156
純資産合計	2,578,527	2,668,725
負債純資産合計	3,145,936	3,130,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
売上高	2,542,432	2,095,976
売上原価	1,608,988	1,265,179
売上総利益	933,443	830,796
販売費及び一般管理費	787,542	770,714
営業利益	145,900	60,081
営業外収益		
受取利息	4,002	3,301
負ののれん償却額	13,198	13,198
貸倒引当金戻入額	15,101	—
その他	5,249	1,631
営業外収益合計	37,551	18,131
営業外費用		
支払利息	1,127	1,023
組合分配損失	3,497	1,756
その他	313	667
営業外費用合計	4,938	3,447
経常利益	178,514	74,766
特別利益		
投資有価証券売却益	—	30,770
特別利益合計	—	30,770
特別損失		
固定資産除却損	5,280	806
投資有価証券評価損	30,476	—
特別損失合計	35,757	806
税金等調整前四半期純利益	142,756	104,730
法人税、住民税及び事業税	21,900	6,387
法人税等調整額	△13,881	9,596
法人税等合計	8,018	15,984
少数株主損益調整前四半期純利益	134,737	88,746
少数株主利益	9,288	7,933
四半期純利益	125,449	80,813

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自平成２４年４月１日 至平成２４年９月３０日)	当第２四半期連結累計期間 (自平成２５年４月１日 至平成２５年９月３０日)
少数株主損益調整前四半期純利益	134,737	88,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	1,451
その他の包括利益合計	△154	1,451
四半期包括利益	134,583	90,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,295	82,264
少数株主に係る四半期包括利益	9,288	7,933

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	142,756	104,730
減価償却費	95,776	96,784
のれん償却額	6,708	6,535
負ののれん償却額	△13,198	△13,198
賞与引当金の増減額（△は減少）	△9,550	3,810
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△15,294	725
退職給付引当金の増減額（△は減少）	289	690
有形及び無形固定資産除却損	5,280	806
受取利息及び受取配当金	△4,002	△3,301
支払利息	1,127	1,023
組合分配損失	3,497	1,756
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△30,770
投資有価証券評価損益（△は益）	30,476	—
売上債権の増減額（△は増加）	213,464	70,931
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,302	△24,608
その他の資産の増減額（△は増加）	4,210	30,030
仕入債務の増減額（△は減少）	9,249	△441
未払金の増減額（△は減少）	△101,500	△26,942
その他の負債の増減額（△は減少）	3,634	△17,202
その他	232	254
小計	349,854	201,613
利息及び配当金の受取額	4,709	3,329
利息の支払額	△1,097	△1,021
和解金の受取額	3,000	—
法人税等の支払額	△24,303	△10,241
法人税等の還付額	9,133	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	341,296	193,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,334	△15,473
無形固定資産の取得による支出	△79,480	△77,144
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	35,926
貸付金の回収による収入	15,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	5,082
その他	545	2,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,269	△49,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△22,704	△26,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,704	△26,567
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	225,321	117,857
現金及び現金同等物の期首残高	1,535,077	1,443,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,760,398	1,561,820

(４) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成２４年４月１日 至 平成２４年９月３０日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	コンテンツ ビジネス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,267,019	984,218	274,756	2,525,993	16,439	2,542,432	—	2,542,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,274	7,245	—	27,520	3,184	30,704	△30,704	—
計	1,287,294	991,463	274,756	2,553,513	19,624	2,573,137	△30,704	2,542,432
セグメント利益又は損失(△)	347,820	83,670	△7,536	423,955	5,189	429,144	△283,243	145,900

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△283,243千円には、セグメント間取引消去△300千円及び配賦不能営業費用△282,943千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成２５年４月１日 至 平成２５年９月３０日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,098,988	990,122	2,089,111	6,864	2,095,976	—	2,095,976
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,880	9,672	42,552	15	42,567	△42,567	—
計	1,131,869	999,794	2,131,664	6,879	2,138,543	△42,567	2,095,976
セグメント利益	272,475	70,856	343,332	4,163	347,496	△287,414	60,081

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△287,414千円は配賦不能営業費用となります。主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「コンテンツビジネス」を廃止しております。これは、コンテンツビジネス事業を営む株式会社エンターメディアの全株式を平成２５年４月１日に譲渡し、同事業から撤退したことによるものであります。

これにより、第１四半期連結会計期間より「配信」、「制作・システム開発」の２つを報告セグメントとしております。